

## 平成19年10月受託研究審査委員会の結果について

受託研究審査委員会第2委員会  
委員長 是恒 之宏

先に申し込みのあった新規自主研究、継続自主研究について独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター受託研究取扱規程第4条第1項、国立病院機構 大阪医療センター受託研究審査委員会細則第5条第1項および同第5条第3項に基づき、平成19年10月23日審議を行った。

新規自主研究「閉経後・ホルモン感受性・neo-adjuvant anthracycline 不応性の原発性乳癌に対する術前 Letrozole 療法の第Ⅱ相試験」、「閉経後・ホルモン感受性・neo-adjuvant anthracycline 不応性の原発性乳癌に対する術前 Letrozole + Docetaxel 療法の第Ⅱ相試験」、「タモキシフェンの適正使用に関する遺伝子多型の解明」については修正の上承認とした。「高齢者軟部肉腫の治療および予後に関する多施設共同研究」、「上腕骨近位悪性骨腫瘍に対する腫瘍用人工骨頭置換術の術後機能に関する多施設共同研究」、「テーラーメイド治療を目指した肝炎ウイルスデータベース構築に関する研究」については却下とした。

実施計画書記載内容等変更報告6課題については変更を承認した。

継続自主研究11課題については、特に問題なく継続実施を承認した。

国立病院機構本部の臨床研究中央倫理審査委員会にて実施承認を得て当院にて実施する臨床研究1課題について、当院迅速審査にて実施承認されたことが報告された。

その他、疫学研究に関する倫理指針の改訂に伴う当院受託研究諸規程の改訂が報告された。また、「受託研究審査委員会があらかじめ指名する者」には是恒臨床研究部長が指名された。